

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		商工業振興事業						予算事業名		商工業振興事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				07	01	03	1101	経常経費								
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう							事業の区分		主要事業					
		活力と創造力を育む商工業の振興														
		活力ある地域産業の振興							担当課係等		商工観光課 商工振興係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
①結城商工会議所における中小企業の経営及び技術の改善発達が図られる。 ②市内住宅関連業者の就業機会の確保と、長期定住化が図られる。 ③和装産地の振興を目的とした、情報交換等を行う。								中小企業相談事業は、商工会議所内に設置された「中小企業相談所」が実施する経営改善普及事業に対し、組織の機能強化を目的に創設された制度である。住宅リフォーム補助金は、平成23年度より社会資本整備総合交付金を活用し実施している。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
①各団体の事業に対する補助金の交付 ・結城商工会議所（中小企業相談事業・商工業振興事業） ・結城桐製品組合 ②住宅リフォーム資金補助金 ・住宅の改良または補修を行う市民に対し、リフォーム資金の一部（1/10、上限10万円）を補助する。 ③令和4年度は、シルクのまちづくり市区町村協議会の開催市となるため、情報交換並びに結城紬を核とした情報発信を行う。前・翌年度においては副会長及び監事として協力する。								①市内事業者（結城商工会議所、結城桐製品組合等） ②市民及び市内施工業者 ③シルクのまちづくり市区町村協議会の構成市及び絹に興味のある者								
								【事業をとりまく環境の変化】 国内経済は、緩やかな回復基調が続いているが、本市を含む地方の中小企業に関しては、厳しい状況が続いているのが現状である。 住宅リフォーム資金補助金については、市民の利用率が高く、経済効果も高いことから継続して欲しいとの意見を受けている。								
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】								
①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し、補助金を交付する。②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。 ③旅費において、シルクのまちづくり市区町村協議会の監事となり、滋賀県長浜市での開催のため課長及び担当者の出席が必須となる。				①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し、補助金を交付する。 ②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。				①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し、補助金を交付する。 ②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。								
■事業費																
				R03年度		R04年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	2,250		5,750								
	県		支	出	金	0		0								
	地		方		債	0		0								
	そ		の		他	0		0								
	一		般	財	源	18,020		19,585								
歳 入 計 (千 円)						20,270		25,335								
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)					金額 (千円)		金額 (千円)								
	08 旅費					11		233								
	10 需用費					235		113								
	11 役務費					291		0								
	12 委託料					0		4,000								
	13 使用料及び賃借料					0		51								
	18 負担金補助及び交付金					19,733		20,938								
歳 出 計 (千 円) (A)						20,270		25,335								
伸 び 率 (%)								24.98								
備考																

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	中小企業相談指導件数	件	目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			実績	757.00	0.00	0.00
	住宅リフォームPR広報紙掲載	回	目標	2.00	2.00	2.00
	広報活動：お知らせ版5月号×1回、9月×1回		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	結城商工会議所会員数	社	目標	1,340.00	1,340.00	1,340.00
			実績	1,318.00	0.00	0.00
	住宅リフォーム資金補助金支給件数	件	目標	50.00	50.00	50.00
			実績	44.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市内の商工業や地域産業の振興のために必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市内中小事業者や商工会議所に対しての支援を行政が行うことは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	特に問題はないと思われる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	依然として厳しい社会情勢であり、事業の成果が出にくいいため、効率性についてはどちらとも言えない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	補助金の交付先は、結城商工会議所や結城桐製品組合など公共性の高い団体であり、住宅リフォーム補助金についても申請者全員に交付できているため、公平性があると言える。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	各団体への補助金は、実績報告にて有効な活用が確認でき、住宅リフォーム資金補助金は、補助金額以上の工事が市内工務店に発注されていることから、大きな経済効果があると思われる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	各団体への補助金については、例年満額請求を受けており、住宅リフォーム資金補助金についても、多くの問い合わせがあり、予算額をほぼ消化していることから、順調であると判断できる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業全体としては、市民からの問合せや実績報告などから、一定の効果をあげていると判断できる。 課題としては、中小企業相談指導件数がここ数年減少傾向にあること、桐製品組合など地域産業への補助事業の効果が顕著ではなことがあげられる。住宅リフォーム資金補助金に関しては、現状では特に問題はなし。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
中小企業相談事業は、引き続き事業内容などを把握しながら連携し実施していくものとし、各団体への補助金に関しては、各団体との連携を密にし、補助金の使い道をより効果のあるものにすべく内容を精査していきたい。 住宅リフォーム資金補助金に関しては、問い合わせも多いことから、広報活動を強化し、より有効性のある事業にしていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 中小企業相談件数が年々減少傾向を示していることについて、相談体制に不備があるのか、相談者のニーズに対応できているのかなど、要因がどこにあるのか検証する必要がある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。